

第115期 中間ビジネスレポート

2025年4月1日～2025年9月30日



バリューチェーンで
人をつなぐ、
社会をつなぐ、
未来へつなぐ



ダイワボウホールディングス株式会社

証券コード 3107

売上伸長と収益性改善により 業績が拡大

ダイワボウホールディングス株式会社
代表取締役社長

西村 幸浩

を見据え、需要の取り込みに注力しました。企業向けでは、周辺機器の需要を取り込んだIT複合案件提案により、安定した受注を確保し、文教向けでは、GIGAスクール第2期の導入が本格化し、大幅な増収となりました。また、重点施策であるサブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」の提案活動を強化し、クラウド環境の構築やサービス導入に向けたニーズの取り込みを図りました。クライアントPCではEOS直前の需要が急増し、大規模案件の獲得および、中規模の投資案件数増加により、業績をけん引しました。今年度下期にEOSに伴う買い替え需要が一巡することを見据え、IT投資意欲の高い顧客やニーズが高まる製品を的確に見極め、受注拡大に取り組んでまいります。

産業機械事業では、工作機械部門では、国内は好調な造船、エネルギー業界からの受注が継続しており、主力の航空機業界も受注回復が続いております。米国向けの受注はエネルギー業界などの需要の回復により増加しました。売上高は、金型業界向け大型機の売上もあり、前年同期比で増加し、それに伴い営業利益も増加しました。自動機械部門では食品・製菓向けなどで本体の販売台数が増加し、増収増益となりました。

最後に、当社グループは、繊維事業が独立し、新たな事業体制のもとでさらなる企業価値向上を目指すため、社名変更の検討を開始しております。社名変更については、従業員、顧客、投資家、地域社会など、さまざまなステークホルダーの関心を引きつけるとともに、企業理念や事業内容、成長へのビジョンをあらためて共有することで、皆様との関係性をより強化し、企業価値向上への大きな推進力にしたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの持続的成長に向けご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績および中間配当について

第115期(2026年3月期)中間連結会計期間における業績についてご報告いたします。当期間の業績は、売上高は6,568億3千万円(前年同期比27.0%増)、営業利益は224億3千5百万円(前年同期比65.9%増)、経常利益は226億8百万円(前年同期比63.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は157億3千6百万円(前年同期比66.1%増)となりました。好調な上期業績を受けて、当社グループは、2026年3月期の見通しを売上高1兆3,370億円、営業利益450億円と上方修正し、株主様への還元につきましては、2026年3月期中間配当金を、1株当たり50円とさせていただきます。

今後の見通しと取り組みについて

当社グループは、昨期より新たな中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)をスタートさせ、今期は本計画対象期間の2年目となります。過去最高の売上高を更新した昨期に続き、今期は売上高はもちろん、営業利益においても過去最高を記録する見通しです。

このようななか、2026年3月期のITインフラ流通事業では、2025年10月のWindows10のサポート終了(EOS)

統合報告書2025を発行

発行3年目となる本報告書では、当社グループの「ありたい姿」(パーパス・中長期ビジョン)を起点に、価値の連鎖(バリューチェーン)をより明確に表現いたしました。財務・非財務の両面から、どのように価値を生み、社会に提供し、未来をつくっていくのかをご紹介します。当社グループの持続的な企業価値向上に向けた「価値創造ストーリー」をわかりやすくお伝えしておりますので、ぜひ、ご一読ください。



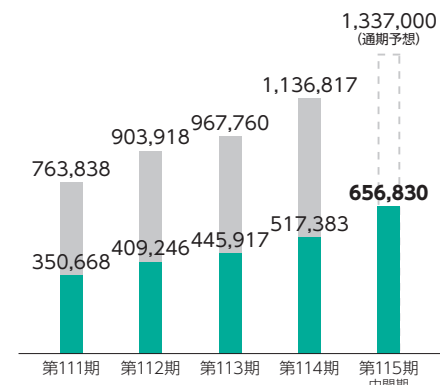
統合報告書2025 ▶
https://www.daiwabo-holdings.com/ja/ir/library/integrated_report.html



売上高(百万円)

6,568億30百万円

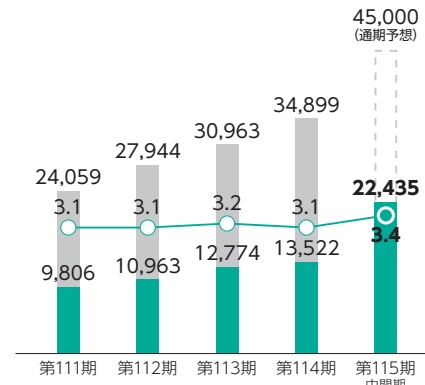
前年同期比 27.0%増 ↑



営業利益(百万円)

営業利益 224億35百万円

前年同期比 65.9%増 ↑

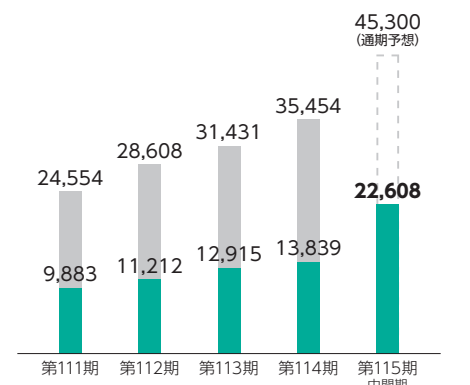


(注) 2023年4月1日に取得したアルファテック・ソリューションズ株式会社に係る暫定的な会計処理が第113期第3四半期連結会計期間において確定しております。第113期中間期に係る数値は、この影響を適正化しております。

経常利益(百万円)

226億8百万円

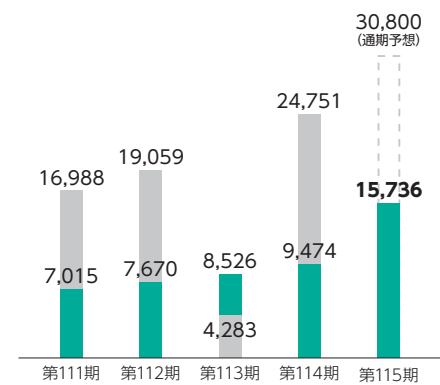
前年同期比 63.4%増 ↑



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(百万円)

157億36百万円

前年同期比 66.1%増 ↑



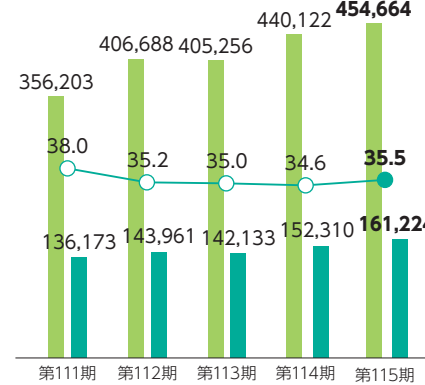
(注) 第113期に大和紡績の株式譲渡などに伴う特別損失を計上した影響で当期純利益が一時低下しております。

総資産(百万円)

自己資本比率(%)

自己資本比率 35.5%

前期末比 0.9pt増 ↑



相対株価

当社 日経平均株価

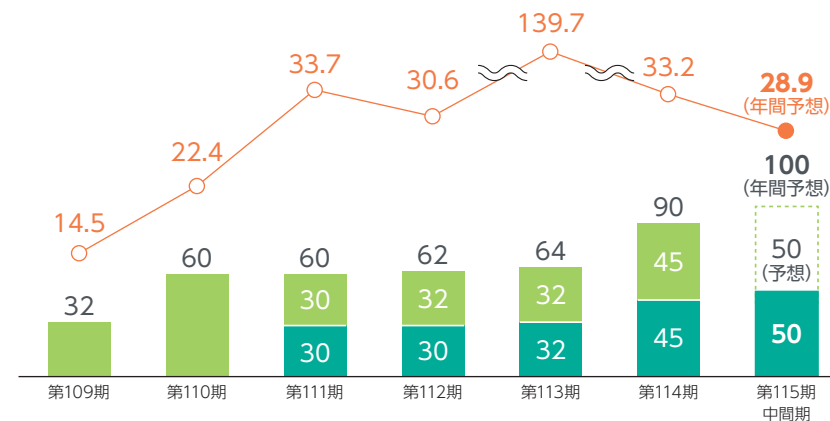
当社株価 2,952.5円



(注1) 月足・終値ベースで算出しております。
(注2) 株式分割(2021年4月1日(第111期))を過年度に遡及して表示しております。

株主還元

配当金(円) 配当性向(%)



第115期の配当金は、1株当たり中間配当金50円、期末配当金50円の年間配当金100円、配当性向は28.9%を予定しております。

※ 1株当たり配当金は株式分割(2021年4月1日(第111期))を過年度に遡及して表示しております。

自己株式の取得状況

第115期(予定)	
自己株式取得	上限80億円 (2025年7月1日～ 2026年2月27日)
総還元性向	54.8% (年間予想)
PER(株価収益率)	16.77倍
PBR(株価純資産倍率)	1.64倍

※ PER、PBRは2025年9月30日終値に基づいて算出しております。

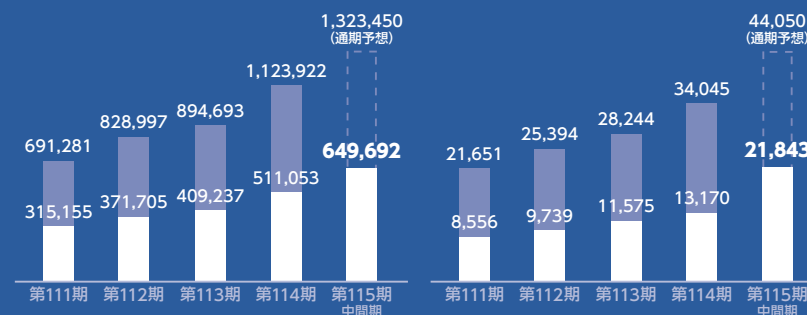
ITインフラ流通事業

ディストリビューション	ダイワボウ情報システム（株）
サービス&ソリューション	ディーアイエスサービス&ソリューション（株）
ITインフラソリューション	アルファテック・ソリューションズ（株）

売上高

6,496億92百万円

(百万円)



営業利益

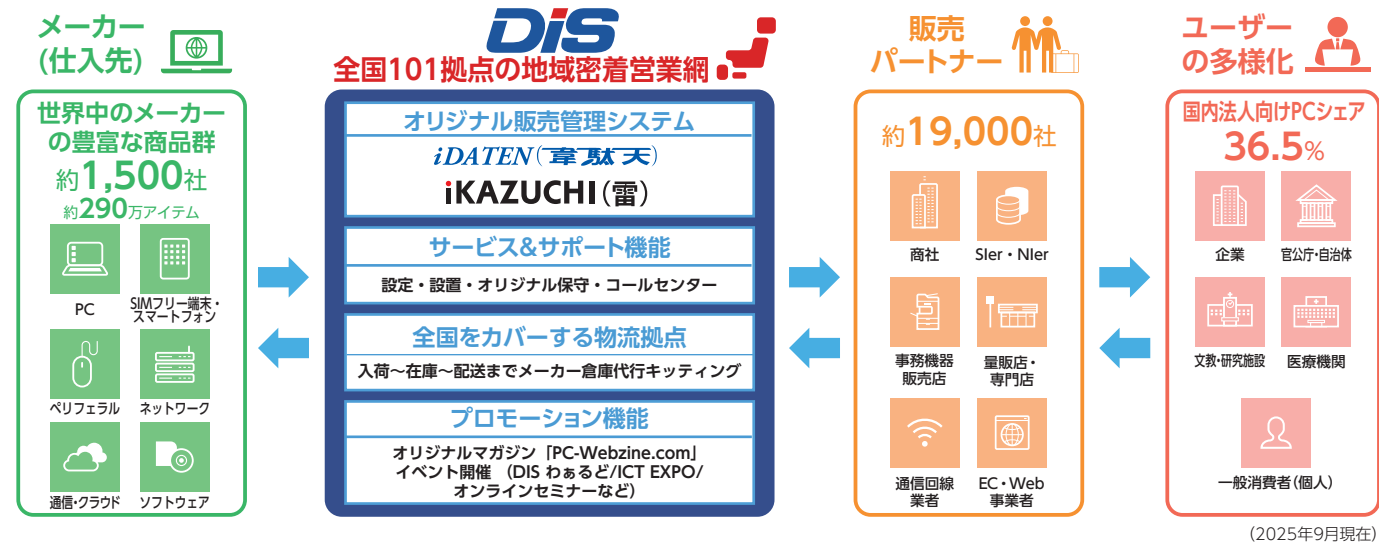
218億43百万円

(百万円)

(注) 2023年4月1日に取得したアルファテック・ソリューションズ株式会社に係る暫定的な会計処理が第113期第3四半期連結会計期間において確定しております。第113期中間期に係る数値は、この影響を過及修正しております。

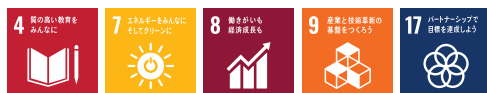
国内最大級のディストリビューターとしてIT環境をトータルにサポート

ITインフラ流通事業は、ダイワボウ情報システム（DIS）グループが運営する事業です。DISは独立系マルチベンダーとして、お客様のニーズに合わせて最適なソリューションを提案し、世界中のIT関連商品・サービスを最適な組み合わせでご提供しています。どの地域のお客様にもFace to Faceできめ細やかに対応できるよう、日本国内をカバーする営業拠点と物流拠点を展開。全国の販売パートナーを通じて、民間企業や官公庁・自治体、学校、医療機関、一般消費者など、幅広く利用されるIT関連商品をお届けします。時代の変化に即応しながら、万全のサービス&サポートで、多様化・高度化するニーズに応え続けていきます。



事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 全国の営業拠点網によるIT化推進の取り組み
- 教育の情報化に向けた取り組み
- サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」での新たなビジネス共創の場の提供



iKAZUCHI(雷)掲載サービス
143ベンダー／279サービス
(2025年9月現在)

「iKAZUCHI(雷)」は、DISが提供するサブスクリプション管理ポータルです。サブスクリプション型（継続課金型）ビジネスは、導入コストを抑えて、最新のサービスを必要な分だけ利用できるため、幅広い分野で普及・拡大が見込まれています。販売パートナーは「iKAZUCHI(雷)」を利用することで、クラウドサービスを中心としたサブスクリプションビジネスにおける注文工数が削減され、年額・月額・従量制などのさまざまな継続型契約や、ユーザー情報の一元管理が可能になります。

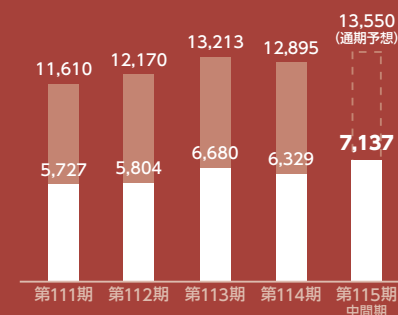
産業機械事業

工作機械	(株) オーエム製作所
自動機械	(株) オーエム機械
鋳造・加工・組立	オーエム金属工業（株）

売上高

71億37百万円

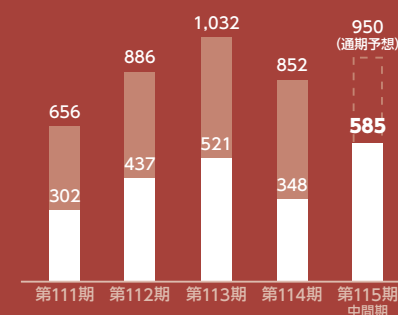
(百万円)



営業利益

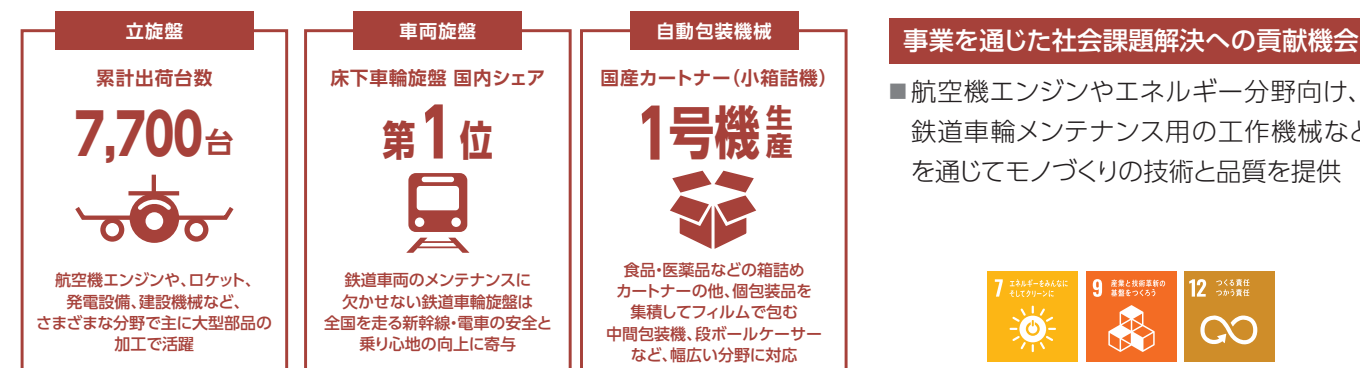
5億85百万円

(百万円)



あらゆる業界の製造機械に変革をもたらす「匠の精鋭技術集団」

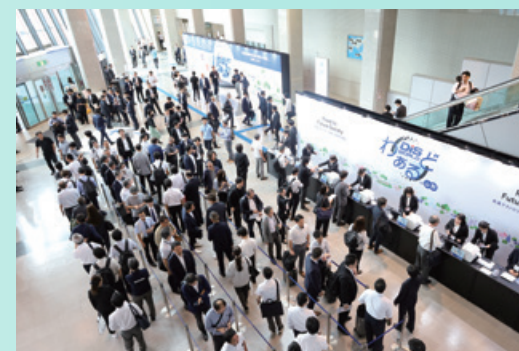
航空・宇宙分野をはじめ、あらゆる産業のマザーマシンとして活躍し、長年にわたる技術・技能の伝承により厚い信頼を得ている「立旋盤」や、鉄道の安全と乗り心地を支える「車輪旋盤」などの工作機械と、食品や製菓などの幅広い業界で活躍する自動包装機を主に製造販売しています。時代を先取りし、独創性を持って、高い技術力が生み出す高精度な機械を提供することで、多様化するユーザーニーズに確実に応えていきます。



TOPICS

「DISわあるど in 山形」を開催

ダイワボウ情報システムは、2025年9月10日と11日の2日間、ICTの総合イベント「DISわあるど in 山形」を開催いたしました。「先進テクノロジーで新たな時代を創る」をテーマに、国内外の200社を超える出展企業とともに最新トレンドのテクノロジーやソリューションの紹介、AIをテーマにしたパネルディスカッションやセミナーを実施し、地域課題の解決に向けたDXのきっかけを見つけられるイベントとなるよう工夫を凝らしました。この2日間で、合計4,032名のお客様にご来場いただき、大盛況のうちに閉幕いたしました。今後も地域密着営業によりコミュニケーションを図り、需要の深耕を目指してまいります。



会社概要

(2025年9月30日現在)

社 名 ダイワボウホールディングス株式会社
資 本 金 216億9,674万4,900円
創 立 日 1941年(昭和16年)4月1日
HD 設 立 日 2009年(平成21年)7月1日
本 社 大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
連結従業員数 3,127名

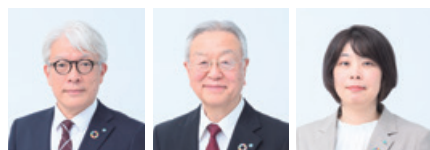
役員

(2025年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長
西村 幸浩専務取締役
猪狩 司常務取締役
山下 隆生社外
取締役
吉丸 由紀子社外
取締役
藤木 貴子社外
取締役
堀 哲朗社外
取締役
岸波 みさわ社外
取締役
堂埜 茂

監査役

常勤監査役
小野 正也社外
監査役
植田 益司社外
監査役
角石 紗恵子

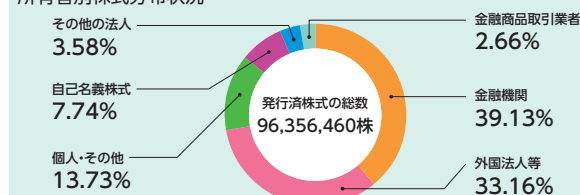
株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
200,000,000株	96,356,460株	11,198名

(注) 発行済株式の総数のうち7,455,932株を自己株式として保有しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.daiwabo-holdings.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取扱いいたします。

「日経・東証IRフェア2025」に出展

当社は、9月26日・27日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「日経・東証IRフェア2025」に出展いたしました。今年は日本経済新聞社と日本取引所グループの共催のもと、昨年を大きく上回る多くの個人投資家の皆様が来場されました。当社会社説明会やミニセミナーにも多数の方々にご参加いただき、当社の事業内容や強み、株主還元策について直接ご説明する貴重な機会となりました。

今後もより多くの皆様に当社グループを広く知っていただけるよう、活動を続けてまいります。

株主の皆さまの
声をお聞かせください

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp> アクセスキー

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキ」サービスにより実施いたします。<https://www.pronexus.co.jp/>
アンケートのお問合わせ「コエキ事務局」 ☎ koekiku@pronexus.co.jp

